

【NHK放映決定！】Eテレ

ぜひご覧ください

医療法人財団天翁会 天本宏の取り組みがNHKで紹介されます

放映日 2015年7月4日(土)午後11時～翌0時29分

日本人は何を
めざしてきたのか

NHK戦後史証言プロジェクト「日本人は何をめざしてきたのか」
第1回 高齢化社会 ～医療はどう向き合ってきたのか～



「急速に高齢化が進む日本。戦後、高齢者のケアはどのように進められてきたのか。1973年、国はこの“老人医療費無料化”を制度化し全国に拡大する。その結果、病院に老人が押し寄せ、医療費が急激に膨れ上がる。1980年代には介護が必要な老人が次々に病院に『収容』される事態となり、『寝たきり老人』が社会問題化する。多摩市で老人病院を開業した天本宏医師(72)は、地域に住む高齢者を在宅で支える仕組みづくりを独自に模索し始めた。そして2000年に介護保険が導入された。しかし高齢化は猛スピードで進み、今後急激に増えると予想される認知症の高齢者には対応が追い付いていないのが現状だ。天本宏医師は、『これからの高齢社会は、モデルなき挑戦だ。これからも現場から発信していく』と述べる。医療から介護・福祉へ。高齢化社会に戦後日本がどのように向き合ってきたのかを描きながら未来へのヒントを探る」

<番組ホームページより一部抜粋>